

平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東天紅
 コード番号 8181 URL <http://www.totenko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小泉 和久

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 山崎 信行

TEL 03-3828-6272

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	4,984	△1.8	△86	—	△109	—	△74	—
22年2月期第3四半期	5,075	—	△316	—	△345	—	△453	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	△2.90	—
22年2月期第3四半期	△17.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	12,910	9,352	72.4	364.01
22年2月期	13,646	9,483	69.5	369.06

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 9,352百万円 22年2月期 9,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	0.3	70	—	40	—	50	—	1.95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 25,728,716株 22年2月期 25,728,716株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 35,163株 22年2月期 33,110株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 25,694,388株 22年2月期3Q 25,696,991株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
【第3四半期会計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果や輸出の拡大などにより一部に回復の兆しは見られたものの、円高による企業収益の悪化や依然として続く雇用情勢の悪化から、個人消費は低迷し、厳しい状況で推移いたしました。

当社は、こうした状況のもとで、「選択と集中による赤字脱却」を目指して諸活動に取り組んでまいりました。

まず、旗艦店舗である「上野店」をはじめ、全店舗においてセールスを徹底的に実施し、宴会売上を確保してまいりました。また、これに加え、県人会、同窓会、趣味の会など景気に左右されにくい個人宴会の獲得にも力を注いでまいりました。

次に、「LUCIS (ルーキス)」「Coeur et coeuR (クーレクール)」「LA VIE CLAIR (ラヴィクレール)」などの婚礼に加え、婚礼2次会等の売上強化を図ってまいりました。

そして、全店統一のランチビジネスを見直し、店舗毎の立地や客層に合わせ、商品内容および価格の改定を実施いたしました。

また、28年続いている上海蟹フェアを実施し、NO. 1ブランドとして珍重されている陽澄湖産の安全・安心な上海蟹を今年もご提供することにより、客単価アップに努めました。

一方、食の『安全・安心』の提供に配慮し、衛生管理・危機管理体制のさらなる強化を図ると共に原材料の取引条件改定や賃借料の引き下げ等あらゆるコストをゼロベースで見直し、コスト削減に努めてまいりました。

なお、「ホテルグランヴィア広島店」は平成22年3月に閉鎖いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は前期の店舗閉鎖もあり、前年同四半期比1.8%減の49億8,438万円となりましたが、「LUCIS」をはじめとする婚礼部門が業績を伸ばし、宴会部門におきましても、積極的な営業活動により客数が増加、既存店売上高も前年同四半期比3.9%増となりました。しかし、景気低迷及び競合激化により法人及び個人消費とも客単価が下落し、宴会部門・グリル部門の粗利益率が低下したため、コスト削減効果があったものの、利益面では当初の計画を下回り、営業損失は8,624万円（前年同四半期は営業損失3億1,642万円）、経常損失は1億987万円（前年同四半期は経常損失3億4,524万円）、四半期純損失は7,462万円（前年同四半期は四半期純損失4億5,350万円）となりました。

来期になりますが、平成23年4月、東京都港区所在の旧“ホテルパシフィック東京”4階に新規出店し、店舗網の拡充を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

（資産・負債及び純資産の状況）

当第3四半期会計期間末における総資産は、前年度末に比べ7億3,642万円減少いたしました。

これは主に、現金及び預金が借入金の返済を行ったものの、四半期純損失の減少、差入保証金の返還並びに投資有価証券の売却等により2,761万円減少、売掛金が売上の変動により2,465万円増加した結果、流動資産は前年度末に比べ988万円減少となり、有形固定資産が償却及び店舗閉鎖による減損処理等により2億3,018万円減少、投資有価証券が売却等により1億5,422万円の減少、差入保証金が定期償還等により2億6,196万円減少した結果、固定資産は前年度末に比べ7億2,654万円減少となりました。

負債は、前年度末に比べ6億610万円減少いたしました。

これは主に、借入金が返済により5億1,100万円減少したこと等によりです。

純資産は、前年度末に比べ1億3,031万円減少いたしました。

これは主に、四半期純損失7,462万円の計上、その他有価証券評価差額金が投資有価証券を一部売却したこと等により5,541万円減少したことなどによりです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、当初予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用しているものについて事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化が認められないことから、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	553,145	580,765
売掛金	281,470	256,817
商品及び製品	6,959	7,894
原材料及び貯蔵品	65,162	60,394
その他	103,565	114,310
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,010,002	1,019,882
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,708,641	1,836,282
土地	7,897,327	7,897,291
その他(純額)	338,033	440,610
有形固定資産合計	9,944,001	10,174,185
無形固定資産	45,891	58,771
投資その他の資産		
差入保証金	1,717,719	1,979,679
投資有価証券	81,900	236,122
その他	111,121	178,415
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,910,141	2,393,617
固定資産合計	11,900,034	12,626,574
資産合計	12,910,037	13,646,457

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,982	161,567
短期借入金	1,150,925	1,394,200
リース債務	17,562	20,729
未払法人税等	22,243	41,310
賞与引当金	16,700	78,588
その他	468,180	490,642
流動負債合計	1,887,593	2,187,037
固定負債		
長期借入金	516,450	784,175
リース債務	45,955	58,701
繰延税金負債	2,823	40,693
再評価に係る繰延税金負債	400,622	400,622
退職給付引当金	473,868	456,675
長期未払金	154,893	156,893
その他	75,000	78,509
固定負債合計	1,669,612	1,976,270
負債合計	3,557,205	4,163,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,092	2,572,092
資本剰余金	6,561,688	6,561,688
利益剰余金	1,029,002	1,103,629
自己株式	△8,332	△8,053
株主資本合計	10,154,449	10,229,355
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,124	59,537
土地再評価差額金	△805,742	△805,742
評価・換算差額等合計	△801,618	△746,205
純資産合計	9,352,831	9,483,149
負債純資産合計	12,910,037	13,646,457

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	5,075,390	4,984,389
売上原価	2,428,756	2,382,239
売上総利益	2,646,634	2,602,150
販売費及び一般管理費	2,963,056	2,688,397
営業損失(△)	△316,422	△86,246
営業外収益		
受取利息	202	110
受取配当金	7,999	6,359
未回収商品券受入益	1,158	1,162
その他	5,043	5,093
営業外収益合計	14,402	12,725
営業外費用		
支払利息	36,703	33,422
その他	6,524	2,926
営業外費用合計	43,228	36,348
経常損失(△)	△345,248	△109,870
特別利益		
投資有価証券売却益	17,569	66,966
受取補償金	26,519	—
特別利益合計	44,088	66,966
特別損失		
固定資産除却損	53,613	805
減損損失	21,825	19,401
店舗閉鎖損失	49,198	775
その他	15,449	—
特別損失合計	140,086	20,982
税引前四半期純損失(△)	△441,246	△63,886
法人税、住民税及び事業税	12,257	10,740
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	12,257	10,740
四半期純損失(△)	△453,503	△74,627

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	1,724,661	1,683,180
売上原価	840,405	819,586
売上総利益	884,256	863,593
販売費及び一般管理費	987,621	874,089
営業損失(△)	△103,365	△10,496
営業外収益		
受取利息	0	0
未回収商品券受入益	218	355
その他	1,569	1,112
営業外収益合計	1,787	1,468
営業外費用		
支払利息	13,785	10,221
その他	1,846	1,704
営業外費用合計	15,631	11,926
経常損失(△)	△117,209	△20,954
特別利益		
投資有価証券売却益	—	63,267
受取補償金	26,519	—
特別利益合計	26,519	63,267
特別損失		
固定資産除却損	118	674
減損損失	21,825	19,401
店舗閉鎖損失	49,198	—
その他	11,219	—
特別損失合計	82,361	20,076
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△173,051	22,236
法人税、住民税及び事業税	3,845	4,000
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3,845	4,000
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△176,896	18,236

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△441,246	△63,886
減価償却費	272,750	238,526
賞与引当金の増減額(△は減少)	△51,833	△61,888
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△248	17,193
受取利息及び受取配当金	△8,201	△6,469
支払利息	36,703	33,422
固定資産除却損	38,156	172
減損損失	21,825	19,401
投資有価証券売却損益(△は益)	△17,569	△66,966
売上債権の増減額(△は増加)	△73,704	△24,652
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,328	△3,831
仕入債務の増減額(△は減少)	89,093	50,414
未払金の増減額(△は減少)	151,324	12,283
受取補償金	△26,519	—
その他	80,443	16,325
小計	65,645	160,045
利息及び配当金の受取額	8,201	6,469
利息の支払額	△42,277	△32,764
法人税等の支払額	△20,802	△20,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,767	113,135
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△94,392	△60,289
投資有価証券の売却による収入	41,792	128,045
差入保証金の差入による支出	△1,157	△25,764
差入保証金の回収による収入	34,135	356,563
受取補償金	26,519	—
その他	△8,910	△7,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	97,988	391,444

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△20,424
短期借入金の純増減額(△は減少)	90,000	△160,000
長期借入れによる収入	1,112,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,009,500	△351,000
自己株式の取得による支出	△225	△279
配当金の支払額	△548	△496
その他	△2,100	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	190,125	△532,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	298,881	△27,619
現金及び現金同等物の期首残高	371,642	580,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	670,523	553,145

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当第3四半期累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)

業 態 別	金 額	前年同四半期比 (%)
中 国 料 理 (千円)	4,516,614	98.3
日 本 料 理 (千円)	368,041	96.7
そ の 他 (千円)	99,733	99.6
合 計 (千円)	4,984,389	98.2

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。